

第119号

ひこね 市議会だより

よみがえった彦根りんご
収穫祭を楽しむ子どもたち
(8月8日：彦根りんご園)

平成24年9月定例会 (9月3日～9月20日)

- 議会で決まったこと 2～5
- 代表・個人質問 6～13
- お知らせ 14

9月定例会



▲仮庁舎（GS彦根キャッスルビル）

本庁舎の耐震化にともない、
工事期間中の仮庁舎を
中央商店街に確保

一部の部署が移転予定



▲地域医療支援センター建設予定地
（彦根市立病院北側駐車場）

地域医療支援
センターを整備

一次救急医療を担う彦根休日急病診療所の充
実や、在宅医療の拠点としての支援体制を新
たにつくる

学校給食センター
建設に向け第一歩

学校給食を通じた食育の推進や学校給食の充
実を図るため、彦根総合地方卸売市場内に建
設予定の、中学校給食センターを豊郷町と共
同利用することを議決



▲彦根総合地方卸売市場

低炭素社会構築事業
740万円



▲住宅用太陽光パネル

住宅用太陽光発電
システム設置の補
助件数をさらに
拡大

防犯灯設置補助金
500万円

従来の防犯灯を節電効果の
高いLED防犯灯に取り替
える場合、1灯につき12、
000円を上限に対象経費
の1/2以内の額を助成



▲LED防犯灯



▲いじめ問題の新聞報道

いじめや
暴力行為などに
対応するサポーターを
3名増員
280万円

様々な問題を抱える学校・
園に対して、学校問題対応
の専門員を増員

常任委員会レポート

水道事業会計の利益の処分の 議決および同会計の決算の認定

市民産業建設

審査

- ・平成23年度彦根市水道事業会計の利益の処分、同会計の決算

内容

水道会計の利益の処分の議決および決算の認定
委員の中からは、給水戸数増にもかかわらず、給水収益が減っている理由、特別損失の具体的な内容、給水停止に至る詳細な経緯や、実態などの質疑があった。

結果

- ・議案は原案どおり可決および認定

中学校給食センター整備・運営に 関する豊郷町との協定変更

企画総務消防

審査

- ・条例改正案 4件
- ・区域、名称の変更に関する議決案件 1件

- ・湖東定住自立圏形成協定の変更に関する議決案件 1件
- ・「こんな時に消費税増税実施は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書 1件
- ・陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書 1件

内容

- ・法律の改正に伴う、防災会議、災害対策本部、市税、火災予防に関連する彦根市条例の改正
- ・中学校給食センター整備・運営に関する豊郷町との協定の変更

結果

- ・議案は原案どおり可決
- ・請願は2件とも不採択

常任委員会レポート

平成23年度 彦根市立病院 事業会計決算の認定

福祉病院教育

審査

- ・平成23年度彦根市立病院事業会計決算
・請願4件

内容

純利益2億162万円を計上できた。
医師・看護師の確保が回復のきざしを
見せ、患者数は前年度より増加したこと、
高度医療提供による診療単価が伸びたこ
とにより収益増となった一方、医師・看
護師数の増員による給与費の増、患者数
増に伴う薬品・材料費の増、高額医療機
器の保守委託料の増があったことにより
経費も増加した。

結果

- ・議案は原案どおり認定
- ・はり・きゅう・マッサージ施術費助成
券制度の再開を求める請願書：採択
- ・県立高校の統廃合に関する請願：採択
- ・鳥居本中学校の学校給食を求める請願
書：不採択
- ・稲枝中学校の自校方式による学校給食
の存続を求める請願書：不採択

決算特別委員会を設置しました

平成23年度彦根市一般会計特別会計の決算審査の
ため、決算特別委員会を設置しました。

委員

- ◎ 渡辺史郎
- 赤井康彦
- 有馬裕次
- 上杉正敏
- 八木嘉之
- 宮田茂雄
- 山内善男
- 安居正倫
- 馬場和子
- 安藤博
- 北村收
- 安澤勝

※ ◎ 委員長

○ 副委員長

公 政 会

質問者 宮田 茂雄

通学路の安全対策について

る。警察や県所管分については協議中であり、11月15日までに実施方法をまとめることになっている。



▲通学路の様子

Q 去る4月末、亀岡市で集団登校中の小学児童の列に軽自動車が入り込み、保護者や多数の児童が死傷した事故が発生。この事故を重くみた文科省、国交省、警察庁が連携して検討した結果、8月末までに学校関係者や保護者、警察官、道路管理者等による「通学路の緊急合同点検」を実施することになった。その点検結果と今後の危険箇所への安全対策の実施について問う。

A 緊急合同点検の結果、安全対策が必要な箇所数は、警察28箇所、県9箇所、市46箇所であった。市所管分の今後の安全対策の実施については、危険箇所に優先順位をつけ、12月補正予算で順位の高い箇所から順次実施していく予定。すでに実施済みや工事中の箇所もある。警察や県所管分については協議中であり、11月15日までに実施方法をまとめることになっている。

緊急性の高い箇所から対策を進める

彦根市のいじめへの取組について

育成、学校への協力が望まれる。



▲ストップいじめアクションプラン

Q いじめを受けていた大津市内の中学2年男子生徒が飛び降り自殺した事件で、大津市教育委員会の事実を隠蔽するかのような行動や対応をめぐり、国民から教育に対する大きな不信と非難が集中している。いじめはこの学校でも発生することから、彦根市のいじめへの取組について、いじめの把握方法、いじめ発生時の対応手順、また学校が地域や家庭に望むこと等について問う。

A いじめの把握方法は、教員の日常の声かけ、ふれあいや観察、日記や生活ノート活用、子どもと保護者へのアンケート実施等で、対応手順はストップいじめアクションプランに則り対策委員会開催、市教委へ報告、被害生徒を守り他生徒への指導徹底、保護者への説明と協力依頼。地域は地域ぐるみでの見守りや学校との連携。家庭は我が子との対話や自立心育成、学校への協力が望まれる。

いじめを早期把握し適切に対応する

夢みらい

質問者 安藤 博

平成25年度 予算編成の考え方は

8ポイント改善の71・5%となり、公債費負担適正化計画の着実な実行による評価する。



▲予算書・決算書

Q 国会は地方自治体に影響のある「赤字国債発行法案」など重要な法案が可決されず閉会した。このように国の動向が不透明な状況であるが、平成25年度の予算編成の考え方と重点化事業について当局の見解を求めます。また、平成23年度の決算状況と財政健全化の4つの指標である「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の結果と評価について問う。

A 改善した実質公債費比率に留意し、稲枝駅舎の改築や中学校給食センターの建設など予算化し重点的に事業を推進していく。平成23年度決算は実質収支額が15億7千万円と過去最大となり、実質赤字比率と連結実質赤字比率は生じず、実質公債費比率は2・2ポイント改善し14・2%で、将来負担比率は21・8ポイント改善の71・5%となり、公債費負担適正化計画の着実な実行による評価する。

良化した 実質公債費比率を留意して

塩漬けされた 公社保有地の見解は

が買取りの財力がなく、当初目的に変わる行政目的が見出せなかった市の責任である。



▲ひこね燦ぱれす周辺未利用地

Q 土地開発公社が保有している事業見込みのない塩漬け地、また完了している保有地面積は約2万8千平方メートルで、期末残高は約12億6千7百万円である。その中には、ひこね燦ぱれす周辺の産業振興センターや勤労者総合福祉センター、清掃センター隣地の健康福祉関連施設の3事業について、事業採択から現状に至った経緯と今後の具体的計画を示すべきと考えるが見解を求めます。

A 3事業については厳しい財政事情から、いずれも当初の目的通りの完成を果たせず、その行政目的を失い現在まで用地の利用ができていない。また、現時点で具体的な計画もない状態である。これまで行政目的が達成できなかったことは、公社自体に問題があるのではなく、先行取得を依頼しながらも市が買取りの財力がなく、当初目的に変わる行政目的が見出せなかった市の責任である。

公社の問題でなく 市の責任である

北村 收

Q 県下水道公社の
廃止に伴う市の見解は

が反映
できる
協議・
調整の
場を設
置する
よう、
県に強
く求め
ていく。



▲琵琶湖流域下水道東北部処理区

Q 県下水道公社の廃止について流域下水道の維持・管理のため、多額の負担金を拠出している本市の市長の見解は。

A 公社主催の「下水道公社解散問題に係る説明会」で、流域各市町長は下水道公社の解散後の維持管理について、具体的な内容が示されない以上、公社の解散は時期尚早で拒否した。

Q 理事会の廃止は県に対し意見を言う場が無くなるのでは。

A 公社を解散するまで公社の理事会に匹敵する場を創設することが、19市町大半の意見であり、本市として意見が反映できる協議・調整の場を設置するよう、県に強く求めていく。

A 下水道公社の
解散は時期尚早である

Q 三津・海瀬の
ゴミ施設候補は断念を

彦根市民の声を市議会で議論することは当然だが市の見解を伺う。

A 広域行政組合の事務であり市は答えられない。



▲現在の清掃センター

Q 三津町は57戸中47戸138筆、海瀬町は50戸中40戸140筆。近隣集落の肥田町327筆、金沢町354筆、ゴミ施設候補地撤回の要望書が届けられている。この現実を直視するなら、市は候補地としての位置づけを撤回するよう協議会や広域行政組合へ通知する義務と責任があると思うがどうか。

また、福祉施設「かいぜ寮」は利用者、職員多数で自治を形成されている。意思を尊重する必要があるのではないか。

A 広域行政組合の
事務で答えられない

山内 善男

Q 荒神山GG場の
拡張整備について

現時点で明確な答えはできないが、できれば平成二十五年の当初予算で要求していきたいと考えている。



▲荒神山公園のグラウンドゴルフ場

Q 彦根グラウンドゴルフ協会からの拡張整備の要望が出されているが、実現に向けてどのような対応をしてきたのか。

A 現実に拡張可能な場所、方法につき検討中。

Q 拡張場所は現コースの南側、つまり谷の方がよいと思うが。

A 南側の谷には公園内の雨水排水路等があり、現在は多目的広場側での拡張を検討している。

Q 工事の着手時期はいつを想定しているのか。

A 荒神山GG場は
拡張整備を実施

安居 正倫

Q 移動手段充実のため
料金の一律化を



▲愛のリタクシー

高年齢者への補助制度導入は困難である。

めには現在、料金の一律化と増大するほど市財政の負担が増える仕組みであるため、持続可能な制度としていくた

Q 市民の移動手段として愛のリタクシーが小型バスのようなものと位置づけられ運行されている。昨年の利用者が増大したのは料金の引き下げがされた事が大きな要因となっている。しかし路線バスとはまだ格差があり料金の一律化を図るべきである。また利用者は高齢者が多く65才以上への半額補助制度の導入をすべきと考えるが見解は。

山田多津子

A 利便性と財政の
バランスから困難

Q 荒神山グラウンドGは
認定コースに



▲荒神山グラウンドゴルフコースC・Dコース

A 荒神山公園のグラウンドゴルフ場C・Dコースは拡張について検討している。その検討と併せてA・B・C・Dコースの日本グラウンドゴルフ協会のコース認定についても検討する。

有馬 裕次

A コースの拡張にあわせ
認定も検討

Q 「地先の安全度マップ」
の公表は



▲彦根市民防災マニュアル・彦根市防災計画

い③土地利用の開発規制が目的等から現在のマップを修正し正確なものにすれば公表に反対しない。

Q 知事が市長に対し、水害リスクを地図で示した「地先の安全度マップ」を市民に公表することに理解を求めた。県が有する浸水・被害想定図を示し、土地利用や避難誘導に役立ててほしい考えからの提案という。これに対し、市長が住民の不安や地価への影響等から公表に異議を唱えた理由は。

田中 滋康

A マップの正確性が重要、
公表を急ぐな

馬場 和子



市役所本庁舎の耐震改修の方向性は



▲耐震改修予定の本庁舎

Q 耐震改修基本計画の概要と実施設計の時期は。

A 災害本部機能を有する基準をクリアするため全階層で耐震補強を行う。教育委員会・上下水道部を本庁舎内に戻すため、南側に5階建てを増築することが基本で年度内に設計。

Q 工事の工程と期間は。

A 着工初期に別館等を解体撤去し跡地に立体駐車場を建設、正面駐車場にプレハブ仮設庁舎を建て本庁舎の耐震補強を階ごとに進め、次いで増築庁舎を建築。約3年程度。

Q 工事完了後の中央町の仮庁舎の活用目処は。

A 仮庁舎利用中に活用法を検討。



約3年間の工事で本庁舎施設耐震化



自分を守るひこにゃん安心カードを



▲ひこにゃん安心カード

Q 救急の現場ではどのような情報が必要か。

A 救急隊が現場で必要な情報は負傷者の氏名、生年月日、性別、既往歴、かかりつけ医、アレルギーの有無、服用している薬などである。

Q 観光面だけではなく市民の福祉のために「ひこにゃん安心カード」の作成を。

A 「ひこにゃん安心カード」は、あくまで個人の責任で管理いただくことを前提としたうえで、ひこにゃんの商標使用を含め、関係機関と調整のうえ、検討していきたいと考えている。

辻 真理子



関係機関と調整のうえ検討していく



地域主権改革一括法への対応は



▲地域主権改革一括法について

Q 国の義務付け・枠付けの見直しが行われ、地方自治体での条例の制定権が拡大された。条例制定および改正の基準の内容は。

A 地方分権改革推進計画では、「従うべき基準」「標準」「参酌すべき基準」であり、参酌する行為を行わなかった場合は違法とされる。

Q 条例への対応は。

A 本年2月の市議会で2つの条例改正を行った。25年4月までに対応しなければならないのは、一部改正5件。新規制定は7件である。

Q 本市への収入は。

A 来年度以降に順次一括交付金化される予定。

小川喜二郎



国の基準で条例の制定・改正を行う

谷口 典隆

Q 幼保窓口一元化で子育て支援拡充を



放課後児童クラブの受付は現在子育て支援課で行われている

Q 教育と福祉の枠を越えた子育て支援を求めるが総合的な放課後対策についての取組は。

A 現在、福祉保健部所管の「放課後児童クラブ」を、平成25年4月より教育部への移管を前提に協議を進めている。また学校施設を活用しながら地域で子どもを育てていく放課後環境のあり方を引き続き検討していく。

Q 幼保窓口の一元化で総合的な子育て支援を。

A 児童・保護者に対する支援を総合的に提供する体制は必要であり、幼保窓口の一元化や就学前児童への地域子育て支援事業など総合的な支援実施に向け協議中である。

A 一元化も含め総合的な支援を協議中

北川 元氣

Q いじめの実態と防止の取組は



▲教室

Q 彦根市の小中学校におけるいじめの実態は。

A 平成24年度小中学校のいじめは、一学期合計いじめ8件、いじめの疑い57件であり、現在すべて解消し、見守り中。

Q 現代のいじめについての認識は。

A 現代のいじめの特徴は①陰湿化②長期化③隠蔽性などがあげられる。

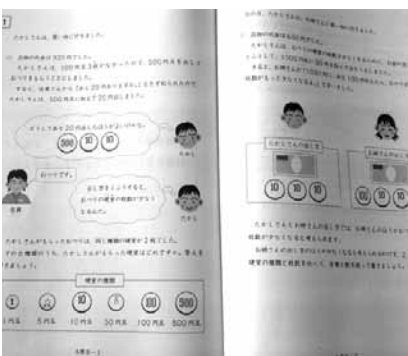
Q 今後のいじめ防止の取組は。

A あらゆる方法、手段機会を通じていじめの発見に努め、また支援員の増員や教員の研修、スクールカウンセラーとの連携を強化し、いじめに対し毅然とした対応を行う。

A いじめに対し毅然とした対応を行う

赤井 康彦

Q 全国学力テストの公開は



▲全国学力・学習状況調査 小学校 算数Bより

Q 文部科学省は、全国の小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果を発表し、滋賀県は全ての科目で平均以下であったが教育長はどう考える。

A 教育に対し熱心な県であると認識していたが結果を見てショックを受けている。

Q 彦根市として、テスト結果をこの数年公開していないが、公開することで地域の協力や様々な気づきが得られると思うが。

A 彦根市の教育行政や施策を進める上で市民の方からの理解を得るため、彦根市の学力全体の把握をしてもらえる形での公開を検討していきたい。

A 結果の公開を検討していく

安澤 勝



重症救急患者は 順番でなく優先を！



▲救急センター

A 幅広い救急看護の知識や技術を有する救急看護認定看護師の育成に努めていきたい。

よりレベルの高い救急を担う看護師育成を。

Q 重症救急患者は順番でなく優先すべき。
A 現在、救急センターにおいて看護師が患者さんの病気やケガの緊急度や重症度を判定して治療の優先順位を決めるトリアージを行うようになってきているが、看護師全員が行える状態には至っていないため、勉強会等を行いトリアージの方法について学習している。この体制が充実すればさらに効率的・効果的な診療が可能になると考える。

優先順位を決める トリアージを導入



国連専門機関 ユネスコへの取組は



▲彦根ユネスコ協会理事会の様子

世界中の学校と交流し、情報や体験を分かち合うことから、彦根城をはじめ地域の文化的遺産の学習を進める彦根市立城西小学校を、ユネスコスクールに申請中であり、今年度中に加盟を目指す。

Q ユネスコ協会の活動からの今後は。
A 来年1月に世界中の子どもたちに教育の機会を提供し、夢に向かって歩んでいけるように応援する世界寺子屋運動募金活動、書き損じはがき回収を行う。また国内のユネスコ協会との交流を深める中で、彦根城をはじめ彦根市のPRに努める。
Q ユネスコスクールの趣旨と取組状況は。
A 世界中の学校と交流し、情報や体験を分かち合うことから、彦根城をはじめ地域の文化的遺産の学習を進める彦根市立城西小学校を、ユネスコスクールに申請中であり、今年度中に加盟を目指す。

矢吹 安子

彦根ユネスコ協会を 幅広くPRする



歴史公民教科書の 採択の実情を問う



▲新しい日本の歴史・新しいみんなの公民

A 国の教科書検定に合格した教科書であり、学習指導要領のねらいが達成された教科書であると認識している。

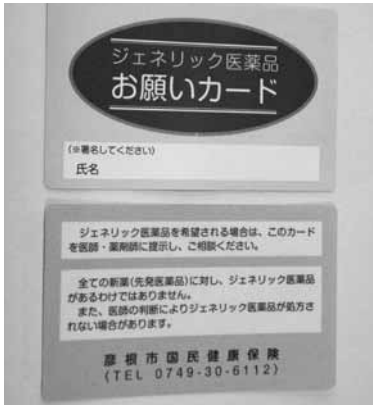
Q 1市4町で構成する教科書採択地区協議会はどのような観点で調査研究がされているのか。
A ①専門的な教科書研究の充実②適正かつ公正な採択の確保③開かれた採択の推進である。
Q 採択の環境改善には努められているのか。
A 保護者代表を加えるなど、公正かつ適正な採択に努めている。
Q 育鵬社から出版されている「新しい日本の歴史」「新しいみんなの公民」教科書への見解は。

八木 嘉之

公正かつ適正な 採択に努めている

上杉 正敏

Q 国民健康保険の医療費適正化を



▲ジェネリック医薬品お願いカード

Q ジェネリック医薬品の切り替えPRの効果は。

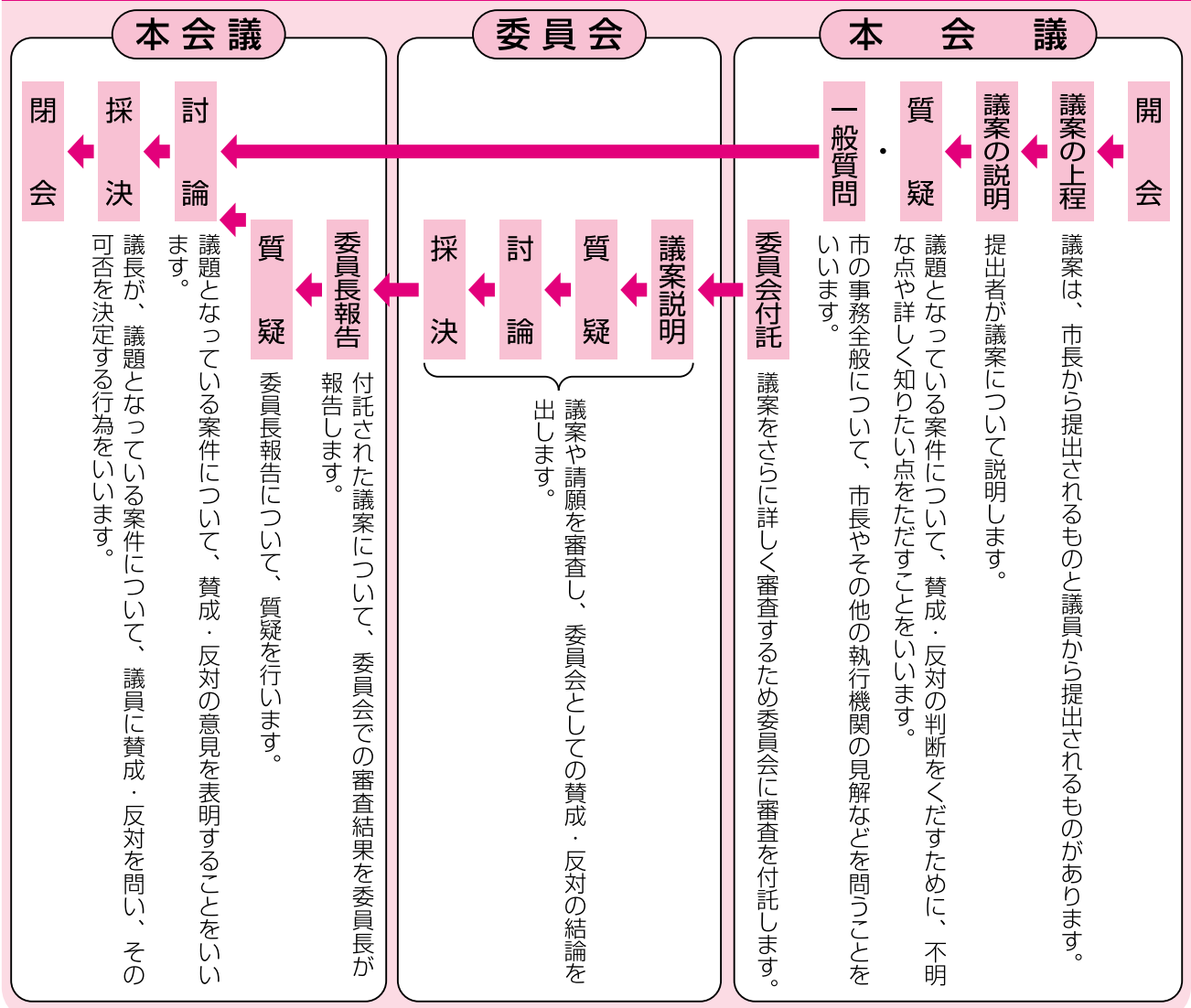
A 昨年12月ジェネリック医薬品差額通知を該当者に送付し、今年1月から6月の調剤分で効果を調べた結果、ジェネリック医薬品に切り替えた人が約24%、金額で約180万円の軽減効果があった。

Q 糖尿病の重症化予防への取組は。

A 高血糖値などリスクの高い方に対して個別の結果説明会を実施し、生活習慣の改善について保健師と一緒に考えるなどの支援を行っている。今後さらなる予防対策について、先進事例も研究しながら対応していきたい。

A 糖尿病の重症化予防対策の実施

議会審議の流れ 市議会定例会に上程された議案などは、おおむね次の手順で審議されます。



議場コンサートを開催しました



9月定例会開会日に開催された議場コンサートは、市内を拠点に活動する坂本純一さんと、オカリナ演奏家の森田美知子さんによる演奏が披露されました。

およそ1300人の市民がオカリナが奏でる「月の砂漠」やオリジナル曲など、澄んだ音色の調べに聴き入っていました。

最後に「赤とんぼ」で締めくくり、アンコールでは思わずくちずさみたく

なるような

「浜辺の歌」を演奏していただき、会場からは惜しみない拍手が贈られ、心地よい雰囲気になりました。



第17回 議場コンサート(予定)

日時 平成24年12月3日(月)
13時から

場所 彦根市議会議場
(市役所5階)

出演 GEMMA(ジエンマ)

内容 女声合唱

その他 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせ予定

次の定例会は
12月です



本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
12月 3日(月)	開会	午前9時
12月10日(月)	個人質問(予備日含む)	
12月11日(火)		
12月12日(水)		
12月13日(木)	予算特別委員会	午前9時
12月14日(金)	企画総務消防常任委員会	
		福祉病院教育常任委員会
12月17日(月)	市民産業建設常任委員会	午前9時
12月19日(水)	閉会	

編集後記

市民の皆様により親しんでいただける「市議会だより」を目指し、議会報編集委員が丸となく第119号の編集に取り組んでまいりました。

これからも市民の皆様にとって読んでいただける紙面づくりを続けてまいりたいと考えておりますので、何かお気づきの点がございましたら、是非ご意見をお寄せください。お待ちしております。

議会報編集委員会